

つくばサイエンス TSUKUBA SCIENCE

ハイライト:

つくば市国際交流協会 TSUKUBA INTERNATIONAL ASSOCIATION

Vol. 2008.10.1発行

- JICA青木所長より
- つくば市パスポート印紙販売所只今営業中
- 中国四川省学校再建のために寄付しました

2006年2月、JICA（ジャイカ）筑波に着任、県内多くの関係者への挨拶周りをしていた際に、つくば市に国際交流協会がないことを不思議に感じたことが、遥か昔のこのように思います。

平成20年10月1日

独立行政法人国際協力機構（JICA）
筑波国際センター
所長 青木 眞

つくば市民の方々による「つくば市国際交流協会」が展開している「国際理解と国際交流」を通じた人的ネットワークは、JICAによる「国際協力」の礎にもなることです。貴協会設立から2年目を迎え、様々な活動・実績を着実に蓄積されていることを心からお慶び申し上げます。

2009年2月、JICA事業の一つである「青年研修」で、カンボジアの保健医療分野関連従事者達を貴協会に受け入れて頂く予定があり、これを機にJICAとの関係がより深まることへの期待とともに、貴紙をお借りして、日頃からのご理解・協力への御礼を申し上げます。

JICA筑波では、110ヶ国以上の途上国から年間1千名以上の研修員が来訪し、農業・教育・防災・環境等々の専門分野の知識・技術を研磨しております。「施設一般公開」や「ちびっ子博士」等々の機会に、つくば市民の方々に来訪され、JICA事業の一端なりとも、お知り頂ければ幸いです。末筆になりましたが、貴協会と会員の皆様方のご健勝を祈念しております。



写真:「JICA田植え祭(さなぶり)」で、JICA研修員(途上国政府や公的機関等の職員)と地元の方々が一緒に田植え



目次:

- つくばフェス ティバル/国際交流フェア 2
- つくばオリエンテーション 2
- 平成20年度姉妹都市青少年交流事業 2
- 日韓国際交流サッカー大会 3
- ポルトガル語生活便利帳 3
- 医療通訳ボランティア研修会 3
- 開催予定 4

つくば市パスポート印紙・写真撮影 只今営業中!

6月2日に開始しました、つくば市パスポート印紙販売所です。パスポート申請用にはセット販売をしていますが、窓口にてばら売りもしています。

業務内容:

- ①収入印紙
- ②茨城県収入証紙
- ③はがき
- ④写真撮影



(パスポート用3枚セット1,500円)

ぜひ、ご利用ください。



中国四川省学校再建のために一般の義捐金とあわせ募金
=157,198円=を

つくば市国際交流協会では、5月12日発生しました大地震被害に対する緊急支援として、財団法人日本フオスター・プラン協会(プラン・ジャパン)を通じて皆様の会費の中から学校再建のための募金を致しましたので報告させていただきます。

法人 1,000円×48口=48,000円
団体 500円×6口=3,000円
個人 100円×300口=30,000円
計 81,000円

協会募金 81,000円

一般募金(日本語講座外国人受講生、講師その他)

つくばフェスティバル／国際交流フェア2008開催



出展の様子

5月10日、11日恒例となりました国際交流フェア2008が開催されました。

今年はテントの出展希望者とステージ出演の希望者が多く、泣く泣く抽選という形をとって参加者を決定しました。

当日はあいにくの天候でしたが、たくさんの方がいろいろな国の料理、ステージを楽しみました。

出展例

ドイツ、中国、フランス、アフリカ、トルコ、ロシア、フィリピン、インドネシア 食品、物産など25テント

ステージ出演例

太極拳、アラビア音楽、フラダンス、ベリーダンス、アフリカンジャンベ、フィリピン など音楽、舞踊など 12グループ

ままとーんさんのご協力で開催した「世界の子育て座談会～こどもごはん～」のプログラムにもいろいろな方が参加し、各国での子育てや子育て中の食事についての話や、つくばでの子育て談義に花が咲きました。

今年来られなかった方、ぜひ来年お越し下さい。



ブラジルの格闘技カポエイラ



国際交流座談会「こどもごはん」

国籍に関係なく
情報を提供

つくばオリエンテーション

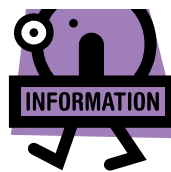
5月17日、新しくつくばに住むことになった外国人のための情報交換のために昨年から開催されました。

このプログラムは、つくば在住の外国人たちのグループ「つくばオリエンテーション」が主体になり、つくば市国際交流協会はボランティアの確保、当日のセッティングのお手伝いをしました。

思いのほか、たくさんのボランティアにご参加いただき、つくば在住者の関心の高さを感じました。



オリエンテーションの様子



平成20年度姉妹都市青少年交流事業

昨年に引き続き、夏休みの姉妹都市青少年交流事業をつくば市から委託を受け実施しました。

今回は、アメリカ、カリフォルニア州ミルピタス市から青少年4人、引率者2人が6月17日から24日までつくばに滞在しました。滞在先は、つくば市内青少年の家。滞在中は、日本文化体験で着物の着付、おりがみを体験、つくば市内の中学校の1日体験など。ホストファミリーデーにはショッピングなど楽しく中身の濃い経験をしました。また7月30日から8月9日まではつくばのホストファミリーの青少年がミルピタスの青少年の家庭にホームステイしました。

サンフランシスコとシリコンバレーに近いこの都市を訪問した青少年達は、博物館、遊園地などたくさんの体験をし、たくましくなってつくばに帰って来ました。

現在、感想文とスライドを作成中です。興味のある方は、協会事務局までお問い合わせください。



ミルピタス青少年
つくばレポート発表



着付け体験



ミルピタスにて

日韓中国際親善少年サッカー交流大会が開催されました

7月25日から29日までの5日間、小学生を対象にした日韓中国際交流親善少年サッカー交流大会が実施されました。この大会は、つくば、韓国大田広域市、中国揚州市の青少年たちが、サッカーとホームステイを通じてアジアの隣国を理解し、世界の平和を願い開催しています。

毎年3カ国を持ちまわりで開催しており、今年はずくばの番でした。

来日前から準備として説明会、韓国中国の理解講座を実施し、準備期間をとりお迎えをしようと思っていました。

3カ国の小学生たち。現代っ子で、ホストファミリーの方たちも大変だったと思います。

今回は韓国からサッカーの他、小学生芸術団が来日し、韓国の伝統芸能「サムルノリ」を披露しました。この青少年たちは、竹園西小学校の希望者が日本

の伝統芸能「お囃子」を披露し、お互いの交流を深めました。



全員写真



選手宣誓



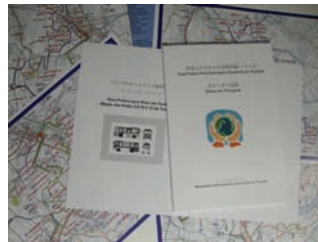
芸術団交流会

必要な情報を
必要な人にお届け
したい。



ポルトガル語生活便利帳発行しました

昨年から急増しているブラジル人の生活援助として、つくば市便利帳ポルトガル語版、つくバスルートマップ(学園都市、谷田部、荊崎方面)を作成しました。この便利帳は日本・つくばに住むために必要な情報が満載されています。現在配布中です。必要な方は協会にお問い合わせください。



つくば市防災訓練に在住外国人も参加しました

昨年に引き続き今年も『つくば市防災訓練』に参加しました。想像以上に規模の大きい訓練に皆さんびっくり!

9月28日は肌寒かったのですが、けが人やその人をサポートする体験や、給食の試食、ビルにいる人の救助などいろいろな形の防災訓練を見学・体験しました。



応急救護の様子

医療通訳ボランティア研修会開催しました

4月から発足しました英語・中国語・ポルトガル語の医療通訳ボランティア、つくばメディカルセンターさんのご好意により、5月から皆さんは受付や小児病棟での研修を積んできました。

9月16日に実施されました研修会では、この半年あまりの間に派遣した人たちの経験談、茨城県こども病院の医師、連(むらじ)先生による医療通訳と医療現場について、問題点の解決の仕方を勉強しました。実際の診察室を想定したロールプレイをし、現場に出られるように準備をしました。皆さんこれからも研修を積んで、少しでもよい内容で医療通訳したいと思っています。ぜひ、応援してください。



連先生講習会



ロールプレイ

国際交流協会副会長から～日韓中国際親善少年サッカー交流大会～



つくば市国際交流協会
TSUKUBA INTERNATIONAL
ASSOCIATION

〒305-0032

つくば市竹園1-10-1

つくばカピオ別棟

電話 029(869)7675

FAX 029(851)9797

Email: inter@tsukubacity.or.jp

今年もやって来ました、この日韓中国際親善少年サッカー交流大会は、2002年3月サッカーワールドカップ開催にちなんで3カ国で開始されました。最初は韓国大田市での開催から始まり、つくば、中国は揚州市と開催してきました。

私は、2002年からずっとこの大会を見守り、応援し、つくばの主催者として毎回参加してきました。近隣の3カ国である日本、韓国、中国、距離的には海外とはいってもそう遠くない方ですし、時差も1時間程度と連絡も取りやすいはずなのですが…。やはり国際大会、距離的な問題だけで解決しないことも多く、毎回開催まではドキドキしています。

今回はつくばでの2回目の大会とあって、1回目よりは余裕があるはずでしたが…。やはり直前に想像していなかったいろいろな問題があり、1つ1つ解決して乗り越えて、ようやく実施ということになりました。

こんな思いをしてまで、なぜ毎回実施するのかというと、やはりこれからの子供たちには国際感覚を身につけて欲しいということ。それから、将来、もしかしたらサッカーの各国代表となってお互いが会うこともあるかもしれない。民間レベルの国際交流がお互いのことを知ること、将来もっと活発になってくれるのでは…。思いを巡らすといつまでも終わりません。

つくば市国際交流協会

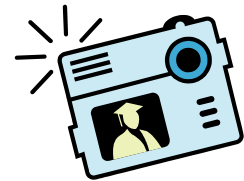
副会長 鈴木 宏

ホームページもご覧ください

<http://www.tsukubacity.or.jp/>

事務局だより 事務局長から

協会が発足して、協会カラーのある事業が少しずつ定着してきたかな?!と思った今年。目下私の心配事は、パスポートセンター印紙販売所の写真コーナーです。沢山の方にご利用いただきたいのですが、なかなかどうして…。お待ちしています!(K)



ホットニュース

開催予定の事業



[外国人向け]

・日本語学習者の

日本語おしゃべり大会つくばチャレンジ

日時: 12月20日(土)

場所: つくばインフォメーションセンター

・在住外国人ニーズ調査

筑波大学と協力して調査する予定です。

[一般向け]・国際理解講演会

時期: 未定(決まり次第連絡します)

いろいろ予定しています。みなさんご参加ください。

[研修生・青少年受入]

・韓国大田市青少年友情作り事業受け入れ

(12月予定)

・カンボジア保健医療研修生受入(2月予定)

平成20年度つくば市国際交流協会

賛助会員数

個人会員 2,000円/1口

300口

団体会員10,000円/1口

5口

法人会員20,000円/1口

48口

平成20年9月30日現在・

ご加入ありがとうございました

編集後記

4月からなんとかここまでやって来た6ヶ月でした。わかっていたのですが、海外とのやりとりは難しい…。後半はつくばでのプログラムが中心です。気を引き締めてかからなければ…

(Y)

